

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●田中勝春騎手がJRA通算1800勝を達成

2月26日(土)の2回中山1日・第8レースではオウケンロジータが1着となり、同馬に騎乗した田中勝春騎手(美浦・フリー)は、史上11人目、現役では5人目となるJRA通算1800勝(2万348戦目)を達成しました。

●調教師7名が引退、5名が新規開業

2月28日(月)をもって、浅見秀一調教師(栗東/JRA通算7897戦666勝)、古賀史生調教師(美浦/JRA通算6149戦532勝)、高橋祥泰調教師(美浦/JRA通算7845戦625勝)、田中清隆調教師(美浦/JRA通算6465戦493勝)、柄崎孝調教師(美浦/JRA通算5776戦277勝)、藤沢和雄調教師(美浦/JRA通算9113戦1570勝)、堀井雅広調教師(美浦/JRA通算7903戦434勝)、以上7名が引退しました。また3月1日(火)付で、美浦では蛭名正義調教師、嘉藤貴行調教師、西田雄一郎調教師、堀内岳志調教師、栗東では中村直也調教師の計5名が新規開業しています。

●春の小倉競馬リーディングジョッキーは横山和生騎手

2月27日(日)をもって2回小倉競馬が終了し、1回小倉で7勝、2回小倉で8勝、計15勝をあげた横山和生騎手(美浦・フリー)が、春の小倉競馬リーディングジョッキーとなりました。

●C.ルメール騎手は国際騎手招待競走で第10位

現地時間2月25日(金)、サウジアラビアのキングアブドゥルアジーズ競馬場で行われた「インターナショナルジョッキーズチャレンジ」に参加したC.ルメール騎手(栗東・フリー)は、4着、4着、12着、9着、計8ポイントで14名中第10位という結果でした。なお優勝は25ポイントを獲得したC.ジョーンズ騎手(豪)でした。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●エンプレス杯(川崎)でショウナンナデシコが重賞初制覇

エンプレス杯(JpnⅡ、3月2日、川崎、2100^米)は、3番手を追走した1番人気のショウナンナデシコ(吉田隼人騎手、牝5歳、父オルフェーヴル)が、逃げ粘る2番人気のサルサディオーネを残り100^米で内から捉えて1馬身半差を付け、初の重賞制覇。3番人気のレーヌブランシュが3着に入り、クリノフラッシュは4着、ブリティーチャンスは5着、ウエルドーンは6着でした。

●レディスジョッキーズシリーズは高知の濱尚美騎手が優勝

11月23日の盛岡、11月27日の高知、2月18日の名古屋で各2戦、計6戦のポイントの合計で争われたレディスジョッキーズシリーズは、地元で2勝をあげた濱尚美騎手(高知)が総合優勝。なお、怪我などによる欠場や引退が相次ぎ、名古屋では僅か5名の参加となりました。

●スプリングCは地元のアップテンベスト【各地の主要3歳重賞】

スプリングC(2月15日、名古屋、1800^米)は、先手を取った岩手からの転入馬アップテンベスト(牝、父エスポワールシチー)が後続を1馬身差で振り切り、単勝1.4倍の支持に応じて梅桜賞に続く重賞2連勝を果たしています。

●ケイアイパープルらが出走、3月10日の名古屋大賞典(名古屋)

名古屋大賞典(JpnⅢ、3月10日、名古屋、1900^米)は、前走の佐賀記念を制してJpnⅢ2連勝を狙うケイアイパープルが中心、以下58^{kg}を背負う昨年の覇者クリンチャー、アナザートゥルース、アメリカンフェイス、ジンギ(兵庫)、エブリワンブラックの順に有力視されます。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●サウジCデーで日本調教馬が4勝をあげる

現地時間2月26日にサウジアラビアのキングアブドゥルアジーズ競馬場で行われたサウジCデーで日本調教馬が4勝をあげる活躍を見せました。まず第1レースのG3ネオムターフC(北半球産4歳上、南半球産3歳上、芝2100^米)をオーソリティ(牡5歳、父オルフェーヴル、美浦・木村哲也厩舎)が逃げ切ると、第2レースのG3・1351ターフスプリント(北半球産4歳上、南半球産3歳上、芝1351^米)ではソングライン(牝4歳、父キズナ、美浦・林徹厩舎)が差し切って優勝し、さらに第3レースのG3レッドシーターフH(北半球産4歳上、南半球産3歳上、芝3000^米)もステイフーリッシュ(牡7歳、父ステイゴールド、栗東・矢作芳人厩舎)が逃げ切って日本調教馬が重賞3連勝を記録。その後、第7レースのG3リヤドダートスプリント(3歳上、ダート1200^米)もダンシングプリンス(牡6歳、父パドトロワ、美浦・宮田敬介厩舎)が逃げ切り勝ちを取めました。鞍上は全てC.ルメール騎手。なお、この日のメインレースであるG1サウジC(北半球産4歳上、南半球産3歳上、ダート1800^米)は地元のエンブレムロード(牡4歳、父クオリティロード、M.アルムロワ厩舎)がW.ラモス騎手を背に追い込みを決めて優勝。日本から参戦したマルシュロレーヌは6着、テオーケインズは8着に終わりました。